

2日目アンケート結果 ●体験者●

アンケート回収数 17枚 (配布数 17枚)

1. ご自身について

年代	30代	40代	50代	60以上
人数	2	5	5	5

2. 1) 「がんサロン～より良いグループサポートのために～」について

	よく理解 できた	理解 できた	どちらか と言えば 理解できた	あまり理解 できない	理解 できない	まったく理解 できない
人数	6	8	3	0	0	0
%	35.3	47.1	17.6	0	0	0

- ・ 1対1も必要だが、グループサポートもまた別の良さがあることがよくわかった
- ・ がんサロンとは、という面から考える機会は今までなかったので、勉強になった
- ・ グループサポートでのルールは、必ず必要だと思った
- ・ ルールを守りながら相談者の方のそれぞれの想いを受け止めていく大切さと、場や状況にどう対処していくかを学ぶことが出来た
- ・ 伴走者のようなイメージがいかに重要かとわかった。“寄り添う”と言うことが大事！
- ・ 伴走者のように寄り添い、仲間と共有するということを大切にしながら、医療には踏み込まず「つなぐ」というピアサポーターの役割も学んだ
- ・ 進行するときの心得として、情報収集や専門職とのつながりの大切さにも気付かされた
- ・ 自分たちの心の余裕や切り替えが大事だと思った
- ・ これからのサロンの運営の関わりにますます役立てたい

2. 2) 「グループファシリテートのために」について

	よく理解 できた	理解 できた	どちらか 言えば 理解できた	あまり理解 できない	理解 できない	まったく理解 できない
人数	6	8	3	0	0	0
%	35.3	47.1	17.6	0	0	0

- ・ がんサロンで起こり得る事例と対応のヒントが大変ためになった
- ・ いろいろな参加者の方への対応、柔軟性が大事だと感じた
- ・ 以前にも参加させていただき、今回も同じところ(気まずい雰囲気の際はユーモアで切り返すところ)が印象に残ったので、ユーモアで切り返しができるようになりたい
- ・ ルールを守ること、また初参加の方への配慮、声掛けのポイントが学べて良かった
- ・ 難しい問題だった。ルールを守りながら患者(家族)の話を受け止めながら、本心がわかるようにできればと思ったが、それが大変なことだと改めて感じた
- ・ すぐに現場で活かせるわけではないことは承知しているが、とてもわかりやすく、実際にそのような場に携わっていらっしゃる方の事例を聞くことが出来て参考になった
- ・ 対応のヒントなど、DVDを通してわかりやすかった
- ・ 数々の事例に頭を悩ませたが、対応の仕方があることがわかり練習していきたい

2. 3) 「ロールプレイ」について

	よく理解 できた	理解 できた	どちらか と 言えば 理解 できた	あまり理解 できない	理解 できない	まったく理解 できない
人 数	7	3	7	0	0	0
%	41.2	17.6	41.2	0	0	0

- ・ 全ての役割を体験できたことが、何より貴重だった
- ・ 失敗しながらも楽しく学べた
- ・ どんな時も受け止めること、また激しい言葉の裏にある心(本音)を引き出すことの大切さを再認識した
- ・ 進行役になり、多くの参加者の意見を傾聴することの大切さや、様々な不安、悩みを持ち参加される方もいるので大変良い経験をさせていただいた
- ・ 実際に経験してみても初めて感じたことが沢山あり、見ているのとは全然違うと感じた
- ・ 自分の経験を取り入れたり、でも押し付けにならないように気を付けたい
- ・ 相手の思いを一度受け止めることが大事だとわかった
- ・ すごく難しかった
- ・ 実際にピアサポーターの役割をしてみると、頭で学んだことでは全然動けなかった
- ・ いろんな事例に関わることになるので、難しいと思った
- ・ 理解できたが、実践の難しさもわかった
- ・ 参加者の役割は不要ではないか、がん患者会の流れは進行役に任せても良いのではないかと思った
- ・ 他の病院の普段通りのやり方を見る方が参考になると思った
- ・ とても重く難しかったが、2日間ロールプレイをし、たくさんの学びがあったので、これからまた気持ちを変えてピアサポーターの役割をできたら良いと思う
- ・ 患者(その家族)様になりきり、進行役も務めさせながら体験できたことは、大変なことだったが、それを実践で役立てられればと思った
- ・ 初めてのことでばかりで緊張したし、実際の場に出ることになるとしても、常に緊張感を持ち続ける(べき)かと思うが、本質的には、もっとゆったりとしたっていいんだよな…とも思っている

2. 4) 「がんサロンの振り返り」について

	よく理解 できた	理解 できた	どちらか と 言えば 理解 できた	あまり理解 できない	理解 できない	まったく理解 できない
人 数	6	9	2	0	0	0
%	35.3	52.9	11.8	0	0	0

- ・ サロンの振り返りがあるということを知ったし、必要だということを学んだ
- ・ 振り返りの重要性について、よくわかった
- ・ 自分自身の体験、患者様の想いを振り返る大切さを学んだ
- ・ リラクゼーションが、切り替えの意味でも大切なんだということがわかった
- ・ 「この場であったことはこの場に置いて帰る」…気持ちの切り替えが大切だとわかった
- ・ 気分転換が大事
- ・ 気持ちの切り替えがピアサポーターにも必要なのだと感じた
- ・ 振り返りをすることで、ピアサポーター自身も守られることを知った
- ・ 相手を大切にすることで、自分を大切にすることにつながる
- ・ ピアサポーターには限界があるということを心に留めておく
- ・ 記録場所、保管、閲覧が、参加したサロンの状況がわからない
- ・ 価値観の多様性を認められるようになりたいと思う

2. 5) 「情報収集の方法と情報提供の注意点」について

分類	よく理解 できた	理解 できた	どちらか と 言えば 理解 できた	あまり理解 できない	理解 できない	まったく理解 できない
人数	5	10	2	0	0	0
%	29.4	58.8	11.8	0	0	0

- ・ 情報収集の大切さと難しさを改めて感じた
- ・ 沢山の情報に惑わされないように、正確な情報を収集することが大切
- ・ 氾濫する情報の中から選択する際は“情報源が大切”ということがよくわかった
- ・ 私は情報に振り回されるタイプなのでネットを活用してこなかったが、ピアサポーターの立場となった時は、情報提供の場やサイトなどを正しく行わなければならない、「知る」ことも大切だと思った
- ・ 相談支援センターの役割を理解する
- ・ 教えていただいたことを、常日頃から参考にしていきたい
- ・ 国立がん研究センターの「がん情報サービス」や「みやぎがんサポートハンドブック」を活用したい
- ・ 色んな情報があふれているので、この学びをピアサポート活動に活かせたらと思う
- ・ 相談者に正しい情報を提供、「つなぐ」を出来るように努めていき、ピアサポーターとして安心感をもって対応できるように成長していきたい

3. 宮城県としてのがんピアサポーターの養成と活動について

- ・ 県のがん対策計画を知ることが出来てよかった
- ・ 県から期待されているなと感じた
- ・ 県として取り組みがあり、とても安心できる“県民の幸福感”を上げるように、県の取り組みが知れてよかった
- ・ がん経験者として社会参加の一助としてピアサポート活動をしたいと思った
- ・ 毎年このような研修があると、自分達の振り返りも出来ると思う
- ・ すでにピアサポーターとして活動している人もいるので、フォローアップや現任教育としての研修をして欲しい
例えば、初任(基礎)、3年 or 5年、経験者5年以上など
- ・ がんピアサポーターを育成していこうという活動があるのはわかったが、具体的にどのように動いていけば良いのかわからなかった
- ・ 初めての試みと伺っていたが、今年度の研修会はたくさんの方々の支えや資料作成などに至るまで、とてもご足労なさったと思う。このような機会を設けてくださりありがとうございました

4. 本日の研修で心に残ったことや感想など、自由にご記入ください

- ・ 2日間共、充実した研修会で、大変良い学びになった
- ・ ロールプレイがすごくためになった
- ・ 1対1のロールプレイより、グループロールプレイが現実的だった
- ・ ロールプレイは難しかったが、実際にある様な事例だったので勉強になった
- ・ 相手の想いを受け止めることの大切さ、寄り添うこと、領域を踏み出さないこと、全てが勉強になった
- ・ 想像以上に難しい研修内容だったが、とても有意義な2日間だった
- ・ スタッフの方のアドバイスがとても参考になった
- ・ これからもたくさん経験を積み、勉強していきたいと思った
- ・ 知識・技術も大切だが、人としての素の部分が出るので“人としての素養”を高めなければ！と感じた
- ・ 2日間共学びにあふれていて頭の中がパンク状態ですが、必ず活かされる日が来ると強く思っている
- ・ いずれ、ピアサポーターとして学んだことを何かに発揮できたらと思う
- ・ 今後、この研修を活かして活動していきたい

- またの機会があれば参加したいと思う
- 同世代のピアサポーターが病院内で活動できる日がくることを願う〈30代〉
- 自分自身の経験から、病院でのピアサポート活動がとても大切であると感じた(自分はピアサポーターがいない病院だった)。あの時ピアサポートがあれば…と感じている
- ピアサポーター同士のつながりも感じる事が出来た
- とても良い皆様に囲まれ研修できたことを幸せに思う。このつながりに感謝